

建築用アンカーボルトメーカー協議会

第 78 回全体協議会議事録

1.開催の日時及び会場

日時 : 令和 6 年 11 月 29 日 (金) 14 : 00～

会場 : TKP 東京駅カンファレンスセンター
東京都中央区八重洲 1-8-16

2.会員数及び出席者数

- (1) 会員数 40 社
- (2) 出席数 30 社 (39 名)

3.議事

(1) 開会

事務局大津 (大津鉄工) より、建築用アンカーボルトメーカー協議会全体協議会を開会する旨宣せられた。

(2) 定足数の報告

事務局より、本日現在同協議会会員数 40 社、本日の協議会出席数 30 社、10 社が欠席で事前に委任状を受任していることから、議決権 40 票となり本全体協議会の議決は有効である旨報告がなされた。

(3) 議長の選出

事務局大津より、小澤副会長 (青戸製作所) を議長にしたいとの提案があり、全員異議なく賛成し、同氏が議長に選出された。

(4) 議事録署名人の選任

議長は、同協議会の議事録署名人の選任について、監事浜野氏 (コンドーテック) を推薦し、議場に諮り承認を得て選任された。

天雲会長あいさつ

物流・建設業界の「2024年問題」から後期高齢者、人口の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上の超高齢化社会を迎えるのが「2025年問題」に続いて「2026年問題」を検索しましたら「AIの学習データが底をつく」でした。我々の業界では人手不足が慢性化しています、製造メーカーにとって人手不足は生産に直結する大きな問題です。会の中でも情報交換が出来ればと思います。貴重な少ない時間の中ですが当会発展のために、積極的なご意見を宜しくお願いします。

報告事項

25周年記念式典について

2025年3月28日(金)14時から神戸にて開催（詳細別紙）
増田先生への講演料や宿泊費等についての特別費用が発生するため
決議事項とし概算金額にて事務局より説明があり全員異議無く承認された。

広報グループ活動報告

ホームページの利用状況について
訪問件数(2024.7~9 3カ月間)25,488件前年同月比96.3%(コロナ渦前は31,342件)
国別アクセス数では初めて日本国内が70%を割込みアメリカ、中国が増えた。
閲覧ページ詳細はJIS規格内容44%、JIS規格改訂・変遷14%、協議会とその設立趣旨
(トップページ)8%、アンカーボルトの役割7%、Q&A5%
トピックスとして新規加盟(小川工業)、品管・製造関連交流会(小野製作所)、
新規JIS認証(大津鉄工/岐阜工場)の3件を掲載した。

マーケティンググループ活動報告

製造実績報告

2024年7月~9月までの実績報告が別紙資料が配布され報告がされた。

教育研修グループ活動報告

10月4日岡山の小野製作所さんで開催されました「第6回品官及び製造に関する責任者交流会」について報告がされた。22社51名マスコミ4社4名総勢55名の参加がありました、今まで最多の盛会となりました。工場見学から「合理化」をテーマとしたディスカッション及び懇親会まで準備から受入れ等くださいました小野製作所様へは感謝と御礼を申し上げます、アンケートの結果からも大変有意義な研修会という意見が多数をしめましたので今後も継続事業として実施する事が確認された。

全国ターンバックル協議会開催の報告

2024年11月21日(木)第227回全体会並びに忘年会が大阪市内で開催された。

主な内容として、今年度の中間活動報告と会計報告が承認された。

技術部会より設計施工指針改正案がまとめ改訂に向けた委員会が発足され、メーカー側に影響が大きいと思われる品質特性の追加が検討されることとなります。

その他、両ねじボルトの廃止、羽子板ボルトの軸部材料径の品質確認等について改正が検討されます。

2024年度の上半期の生産数量の報告、次年度開催予定の日程(2025年5月22日東京、11月27日会場未定)の報告がされた。

設計施工指針改訂の件

進捗については遅れていましたが、2025年3月28日の当協議会25周年の際に増田先生からの講演会で本件改訂部分の説明がされる予定です。

現在2回目の査読が実施されています、正式に内容が固まれば皆さんへ案内致します。

六角ボルト、ナットの規格改訂について

6月26日に改正原案作成委員会より出された「JISB1180及びJISB1181におけるJISとしての付属書(規定)の廃止理由及び規定内容の移行に関する注意事項について」その後の進捗状況について詳しい説明が小澤副会長よりされた。

協議事項

前回4グループに分かれJISアンカーボルトの更なる普及等について協議された内容についてそれぞれの代表から報告がされた。

上記は建築用アンカーボルトメーカー協議会の議事に相違ないことを証するため、ここに議長及び議事録署名人が本議事録に署名、押印する。

令和6年11月

議 長	小澤 英樹	印
署名人	浜野 昇	印